

参考資料

地域の特性を考慮した診療報酬点数について②

2次医療圏毎の看護職員数

一般病院※の看護職員数

一般病院※の1日平均在院患者100名

一般病院:精神科病院、結核療養所を除く
療養病床を含む

(医療施設調査資料:平成20年病院報告結果等に基づき保険局医療課作成)

【結果】

平均	67.7	最小	34.5
標準偏差	11.8	最大	172.9

【標本数:348(2次医療圏数348)】

著しく看護職員が少ない2次医療圏は3圏であった(−2SD以下をはずれ値とした)。

【静岡県】賀茂(34.5) 【愛知県】尾張中部(42.4) 【山口県】柳井(40.8)

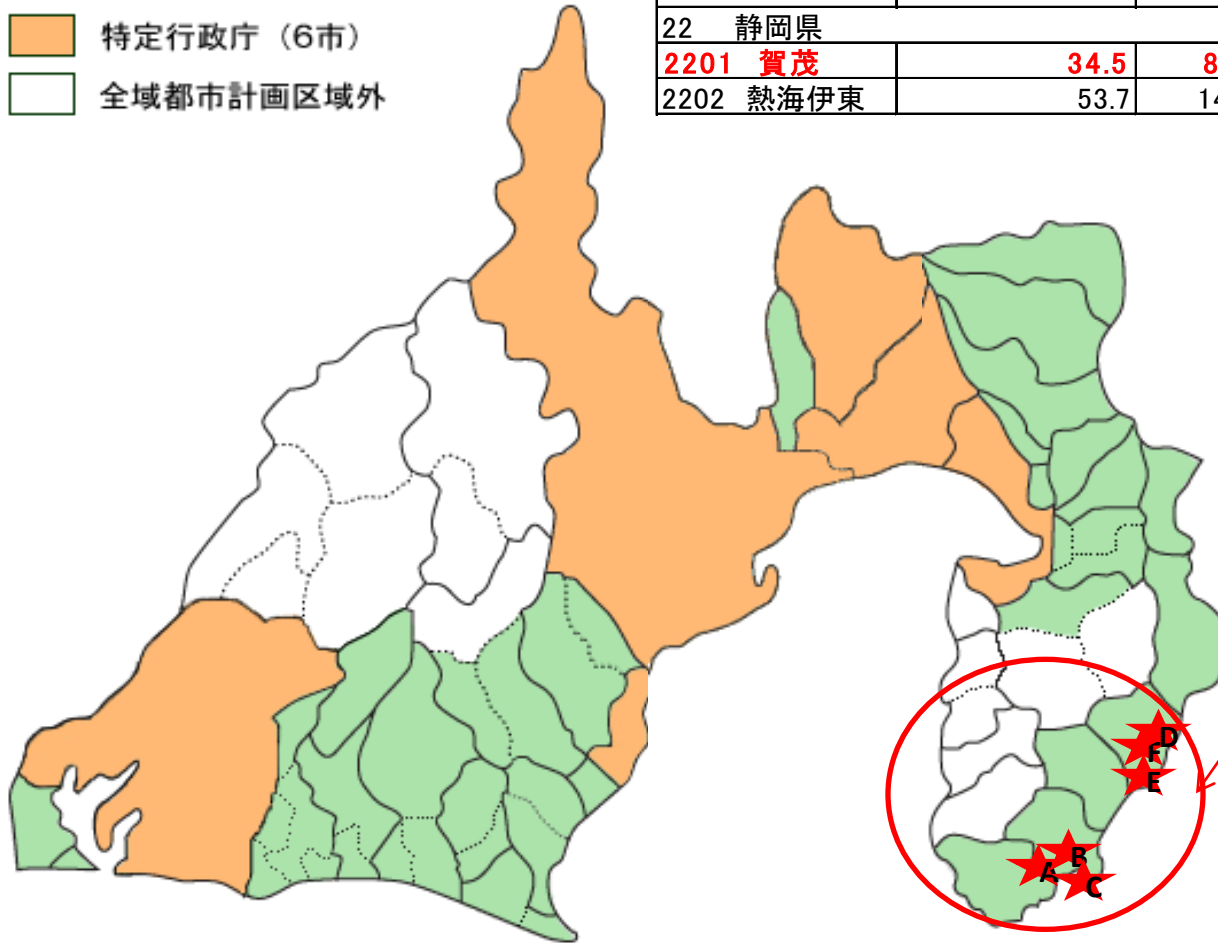
参考)上記の医療圏にある医療機関の看護配置と隣接する医療圏の一般病院の1日平均在院患者100人あたり看護職員数人口10万対医師数、看護職員数、人口千対看護職員数、病床数、療養病床数、一般病床数を掲載した。

静岡県賀茂保健医療圏

凡例

- 静岡県の指定する市町
- 特定行政庁（6市）
- 全域都市計画区域外

	一般病院の患者100人 当たりの看護職員数	人口10万対	人口10万対	人口千人対	人口千人対	人口千人対
		医師数	看護職員数	病床数	一般病床数	療養病床数
22 静岡県						
2201 賀茂	34.5	86.2	583.7	20.0	4.9	9.3
2202 熱海伊東	53.7	143.1	400.4	9.7	5.9	3.8

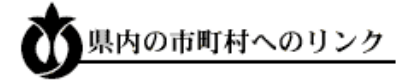


【一般病院】

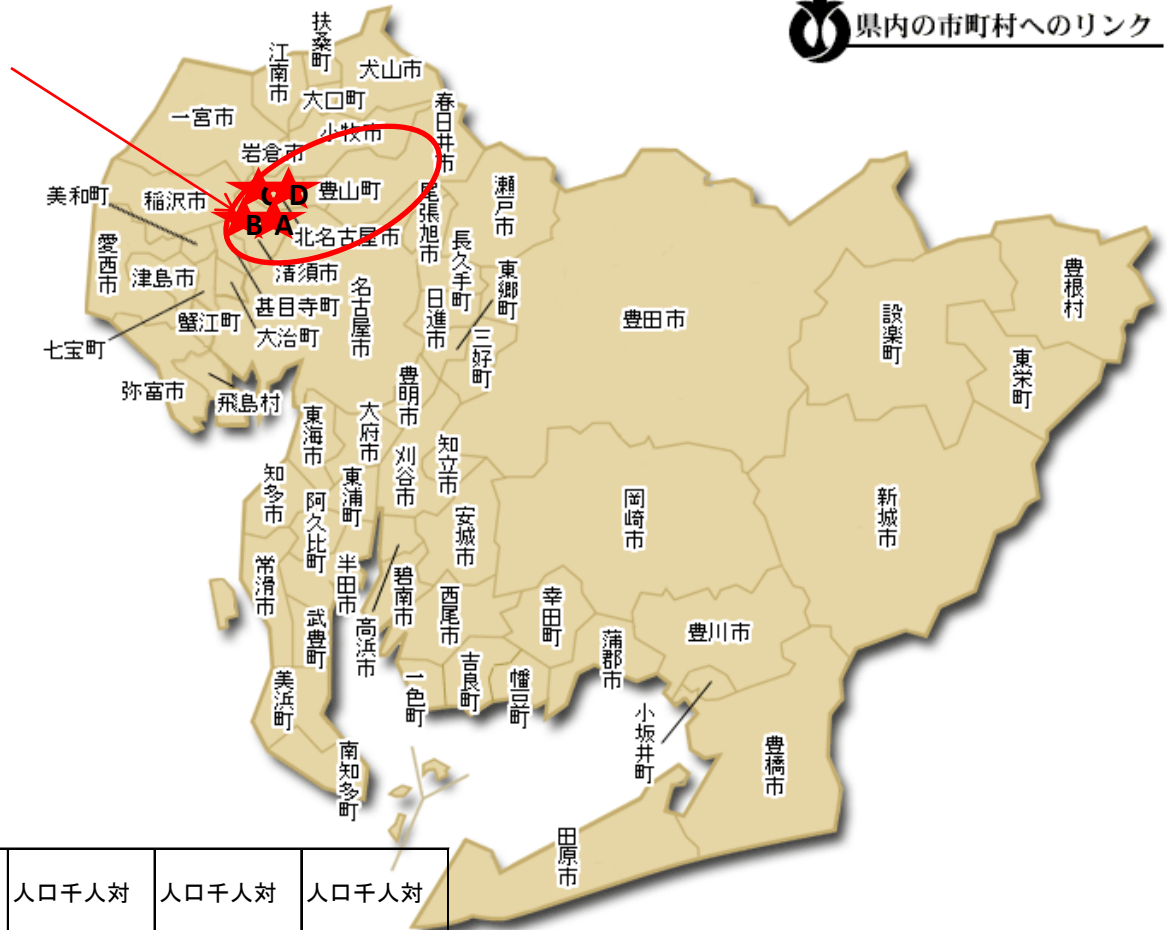
名称	届出区分	一般	療養
A			107
B	15対1	52	
C			40
D	特別入院基本料	55	
E	15対1	51	
F			199

西伊豆町、松崎町、
南伊豆町、下田市、
河津町、東伊豆町

愛知県尾張中部医療圏



清須市、北名古屋市、春日町、豊山町



【一般病院】

	届出区分	一般	療養
A	13対1	100	54
B			12
C			100
D	13対1	168	100

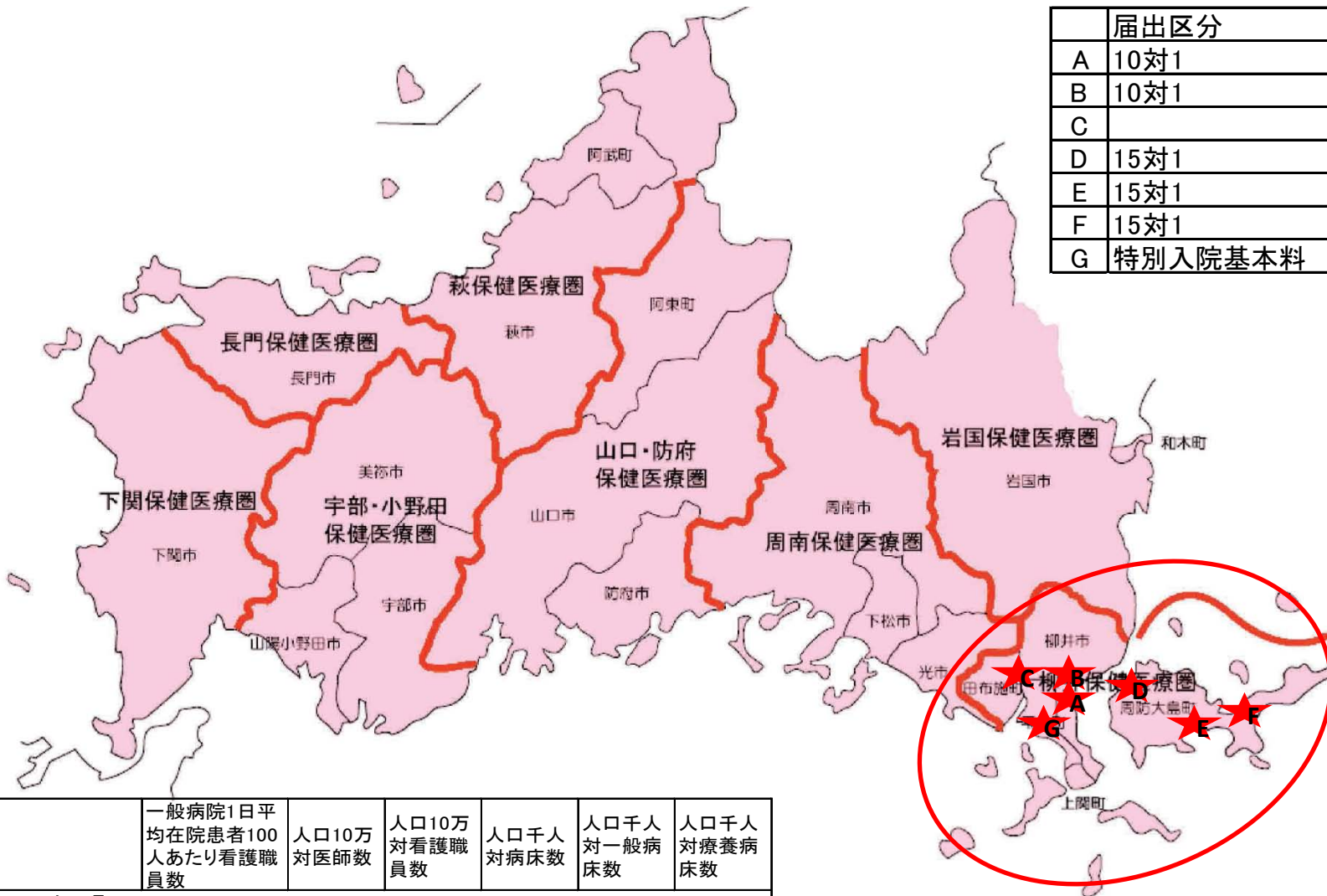
	一般病院1日平均在院患者100人あたり看護職員数	人口10万対	人口10万対	人口千人対	人口千人対	人口千人対
		医師数	看護職員数	病床数	一般病床数	療養病床数
23 愛知県						
2301 名古屋	75.4	181.9	669.4	11.9	7.9	1.8
2302 海部	73.5	77.5	368.8	7.2	3.7	2.1
2303 尾張中部	42.4	31.6	175.7	4.6	1.7	2.9
2305 尾張西部	80.9	91.8	473.8	8.3	5.1	1.2
2306 尾張北部	76.7	94.0	441.7	7.9	4.4	1.6

Copyright © 2009 AICHI Prefecture All rights reserved.

山口県柳井医療圏

【一般病院】

	届出区分	一般	療養
A	10対1	280	
B	10対1	360	
C			100
D	15対1	99	
E	15対1	36	
F	15対1	131	
G	特別入院基本料	160	444



	一般病院1日平均在院患者100人あたり看護職員数	人口10万対医師数	人口10万対看護職員数	人口千人対病床数	人口千人対一般病床数	人口千人対療養病床数
35 山口県						
3501 岩国	58.6	120.2	740.4	15.4	6.9	4.9
3502 柳井	40.8	126.9	1,006.9	27.8	10.4	10.9
3503 周南	61.2	106.5	678.8	14.2	7.3	4.4

3 医療圏における過疎4法での対応

- ・離島振興法(昭和28年法律第72号)第2条第1項に基づいて指定された離島振興対策実施地域
- ・辺地にかかる公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律(昭和37年法律第88号)第2条第1号に規定する地域
- ・山村振興法(昭和40年法律第64号)第7条1項に基づいて指定された振興山村
- ・過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)第2条第1項に基づいて公示された過疎地域

都道府県名	2次医療圏		過疎4法での対応			
			離島	辺地	山村	過疎
静岡県	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町			○	○
愛知県	尾張中部	清州市、北名古屋市、豊山町、春日町				
山口県	柳井	柳井市、田布施町、平生町、上関町、周防大島町	○	○		○